

第三〇四回俳都松山俳句ポスト

第三〇四回開函

「渋柿」 主宰 渡邊 孤鷺 選

特選三句

繁多寺や残照という秋の色

愛媛県松山市 岩瀬 啓子

小春日や伊予は五七五の街

福岡県大牟田市 帆士 宣洋

秋空や高き天守の重ね柄

広島県広島市 大迫 妙子

入選十九句

(市外)

伊予鉄や吊り革越しの夏の海

兵庫県宝塚市 芳野 正樹

冬の城俳都眼下に天下晴る

愛媛県伊予市 福井 恒博

旅付き合い裸で語る道後の湯

埼玉県比企郡小川町 藤間 友二

伊予人の慈愛あふるる遍路道

茨城県水戸市 大久保 豊徳

落葉して天守の白のきはまれり

東京都国立市 大貫 葉子

秋うらら俳都の電車の大曲り

大分県大分市 赤峯 友子

瀬戸内の豊かさを知る鱒かな

高知県高知市 星野 聡介

秋の旅俳句の街の雨上り

東京都世田谷区 植木 俊哉

秋深し旅の終わりの道後の湯

愛媛県大洲市 高井 常博

仰ぎ見るお大師様や初紅葉

千葉県千葉市 四條 雅信

庭園の踏石確と菥床し

大阪府茨木市 久保田 美子

山せまる古湯の湯気と秋霖と

広島県福山市 高橋 靖子

(市内)

大師さまに供ふ名水石路の花

愛媛県松山市 門田 貞美

樗堂忌の琴のしらべや昼の虫

愛媛県松山市 二宮 一知

小春日や優しく響く伊予言葉

愛媛県松山市 篠原 正史

冬麗ら鷺の降り立つ出湯の里

愛媛県松山市 山田 幸子

親と子の絆深まる出湯の秋

愛媛県松山市 山田 久栄

(十五歳以下)

かんらんしや道後の町に秋の風

香川県高松市 吉川 陽大

紅葉の山にそびえる松山城

愛媛県松山市 伊東 宏典

伊予灘ものがたり賞

秋麗や伊予灘を行く列車旅

徳島県鳴門市 戸田 美穂

投句総数 一、一七六句

市外 七五〇句

市内 四二六句

投句者総数 七三四人

市外 五二二人

市内 二一二人

開函日

令和三年十一月三十日